

2014年9月期
第4四半期(通期)決算説明会

2014年11月4日

株式会社セプテーニ・ホールディングス
<http://www.septeni-holdings.co.jp>
証券コード：4293



1. 四半期連結決算概要
2. ネットマーケティング事業
3. メディアコンテンツ事業
4. 2014年9月期 通期レビュー
5. 2015年9月期の方針と1Q業績予想
6. 補足資料

※本資料の表・グラフに記載の金額は全て百万円単位で表示しております。

1. 四半期連結決算概要

売上高 **13,985百万円** (前年同期比**16.8%増**)
営業利益 **555百万円** (前年同期比**11.4%増**)

- とともに4Qとしての**過去最高**を更新

ネットマーケティング事業は着実な成長が続く

- 前年同期比**20.1%増収**、**22.1%増益**
- モバイル・ソーシャル・グローバルの各注力分野が高成長

メディアコンテンツ事業は前年同期比で営業赤字が拡大

- モバイルゲーム事業、マンガコンテンツ事業ともに先行投資を積極化

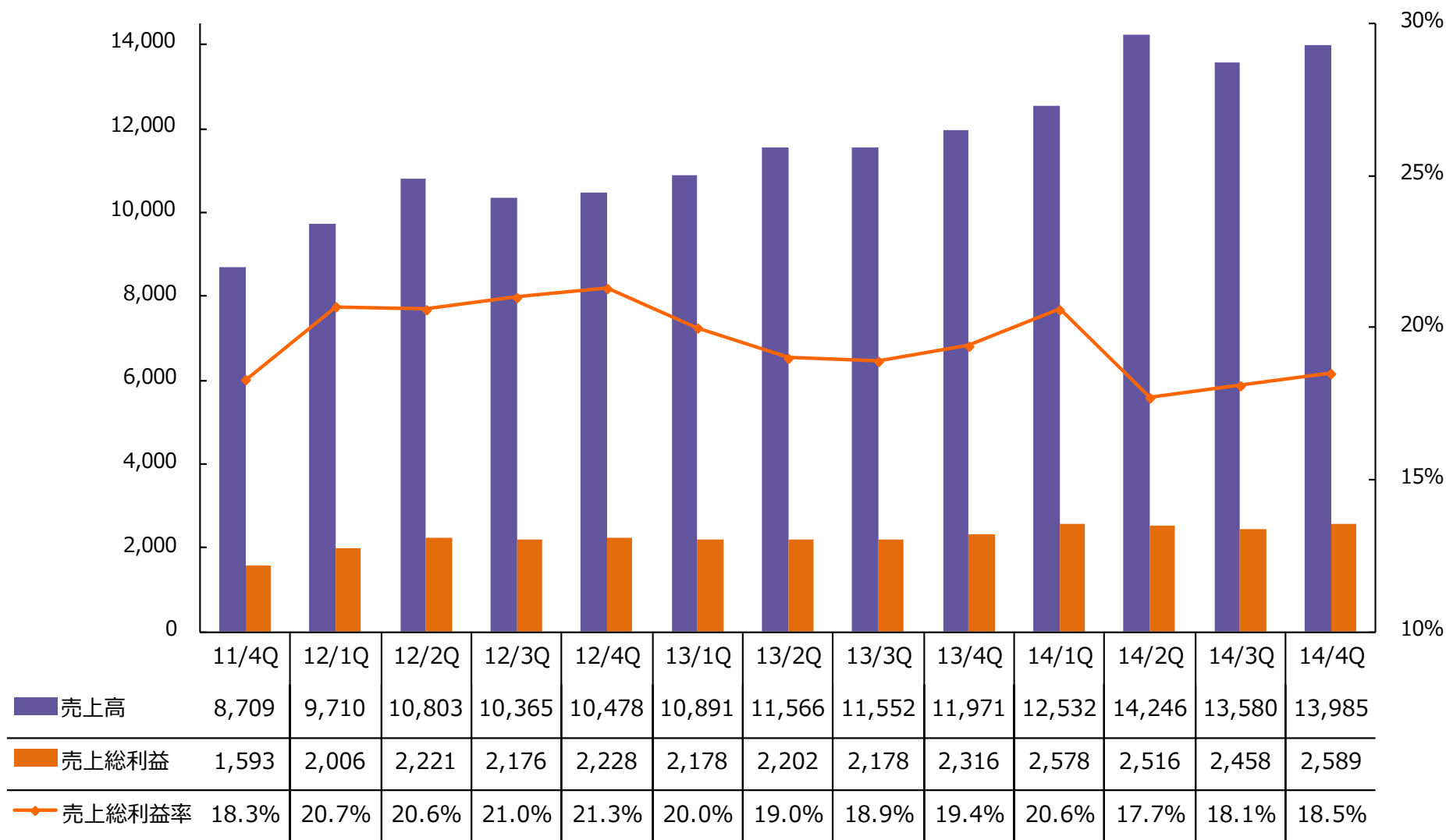
	2014年9月期 4Q			2013/9期 4Q (前年同期)		2014/9期 4Q 業績予想
	金額	比率	前年同期比	金額	比率	
売上高	13,985	100.0%	+16.8%	11,971	100.0%	13,800
売上総利益	2,589	18.5%	+11.8%	2,316	19.4%	—
販売管理費	2,033	14.5%	+11.9%	1,817	15.2%	—
営業利益	555	4.0%	+11.4%	499	4.2%	550
経常利益	582	4.2%	+10.1%	529	4.4%	550
当期純利益	361	2.6%	+21.8%	296	2.5%	330

好調なネットマーケティング事業が連結業績を牽引

- 売上総利益が**過去最高**を更新、総利益率も前四半期比で改善
- メディアコンテンツ事業の営業赤字幅拡大（-78百万円）をカバーし、二ケタ増益を確保

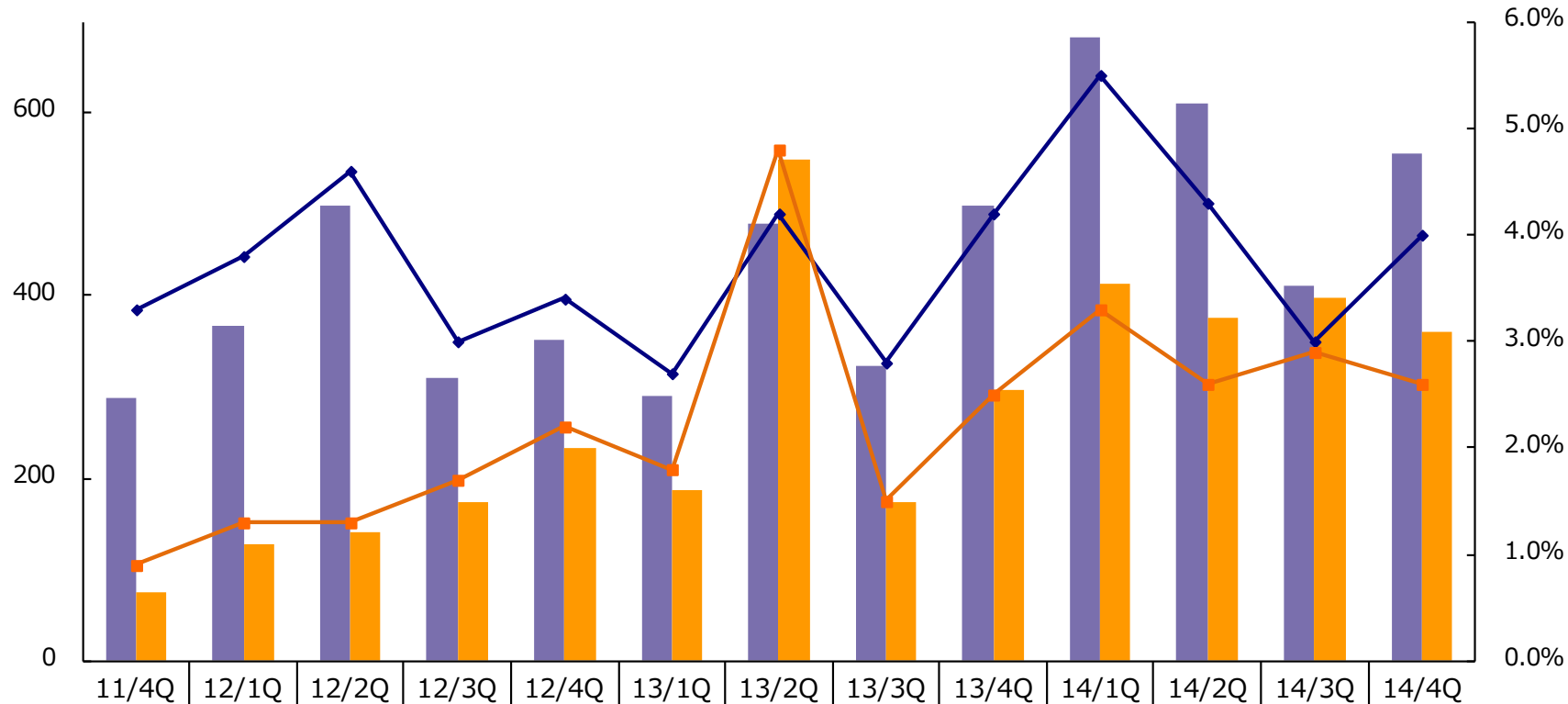
売上高・売上総利益

→ 総利益率が前四半期比で改善



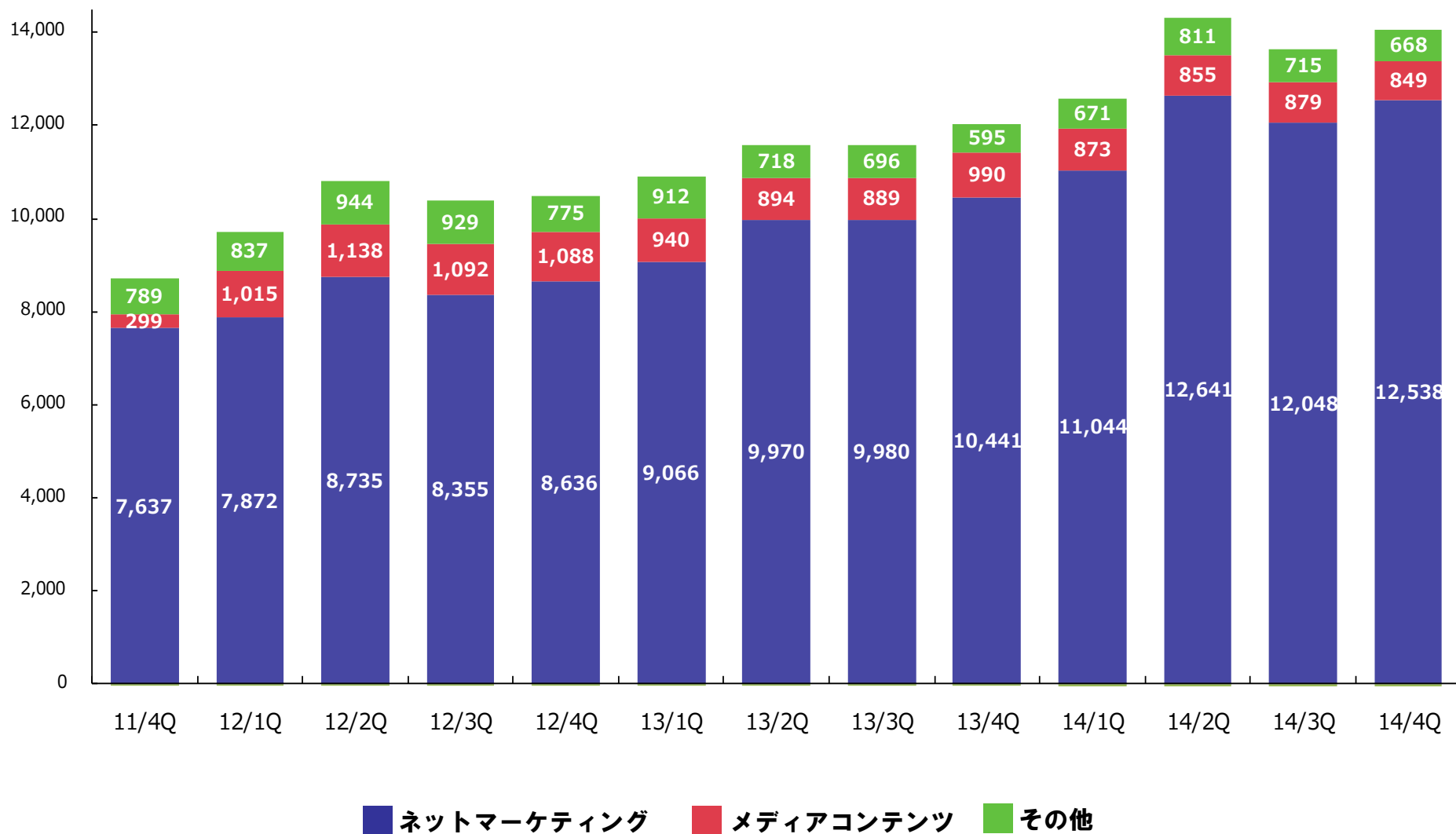
営業利益・当期純利益

→ 当期純利益は前年同期比**21.8%増**

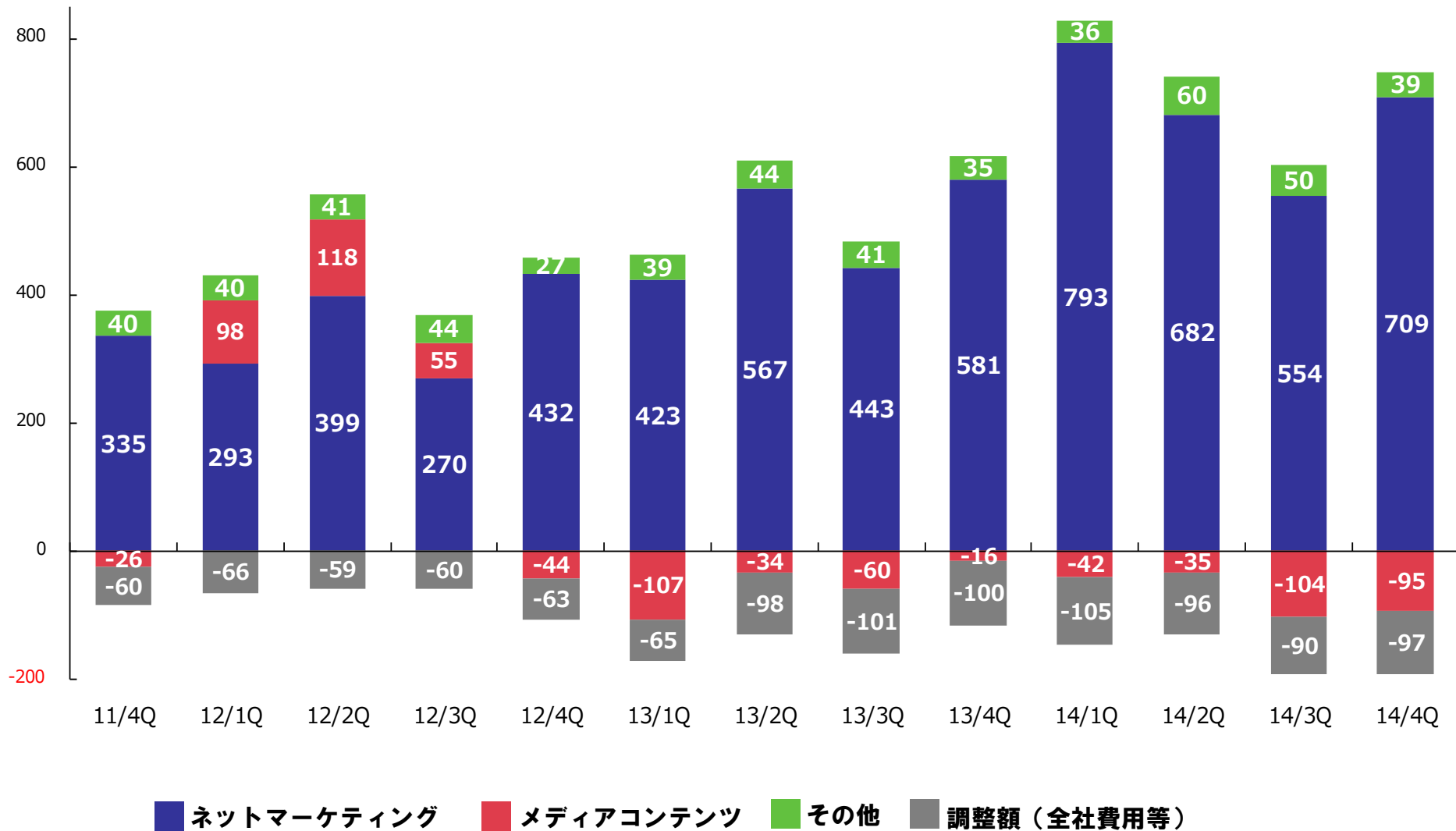


■ 営業利益	288	366	498	310	351	290	479	323	499	682	611	410	555
■ 当期純利益	76	128	141	173	233	186	549	174	296	413	375	398	361
◆ 営業利益率	3.3%	3.8%	4.6%	3.0%	3.4%	2.7%	4.2%	2.8%	4.2%	5.5%	4.3%	3.0%	4.0%
◆ 当期純利益率	0.9%	1.3%	1.3%	1.7%	2.2%	1.8%	4.8%	1.5%	2.5%	3.3%	2.6%	2.9%	2.6%

売上高

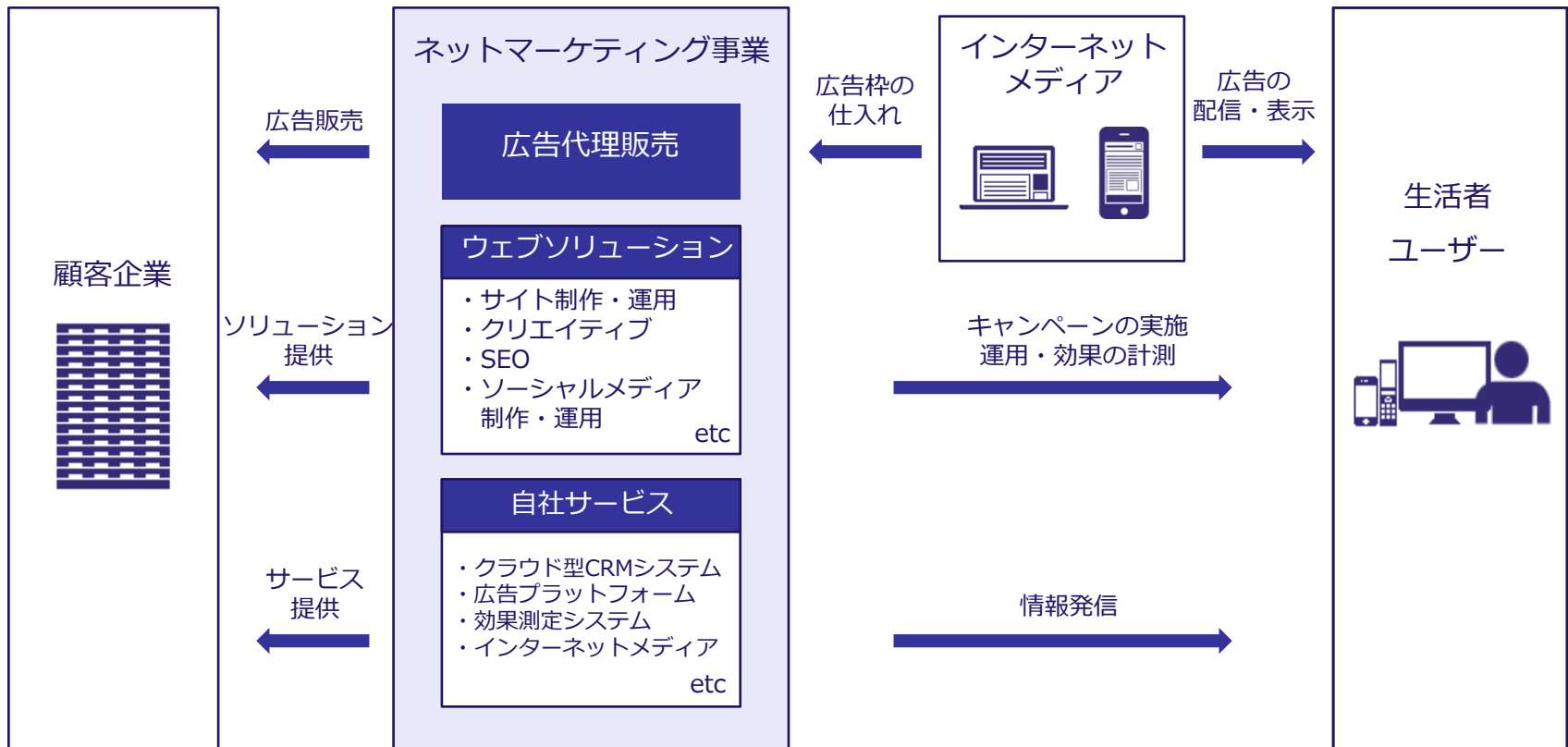


営業利益



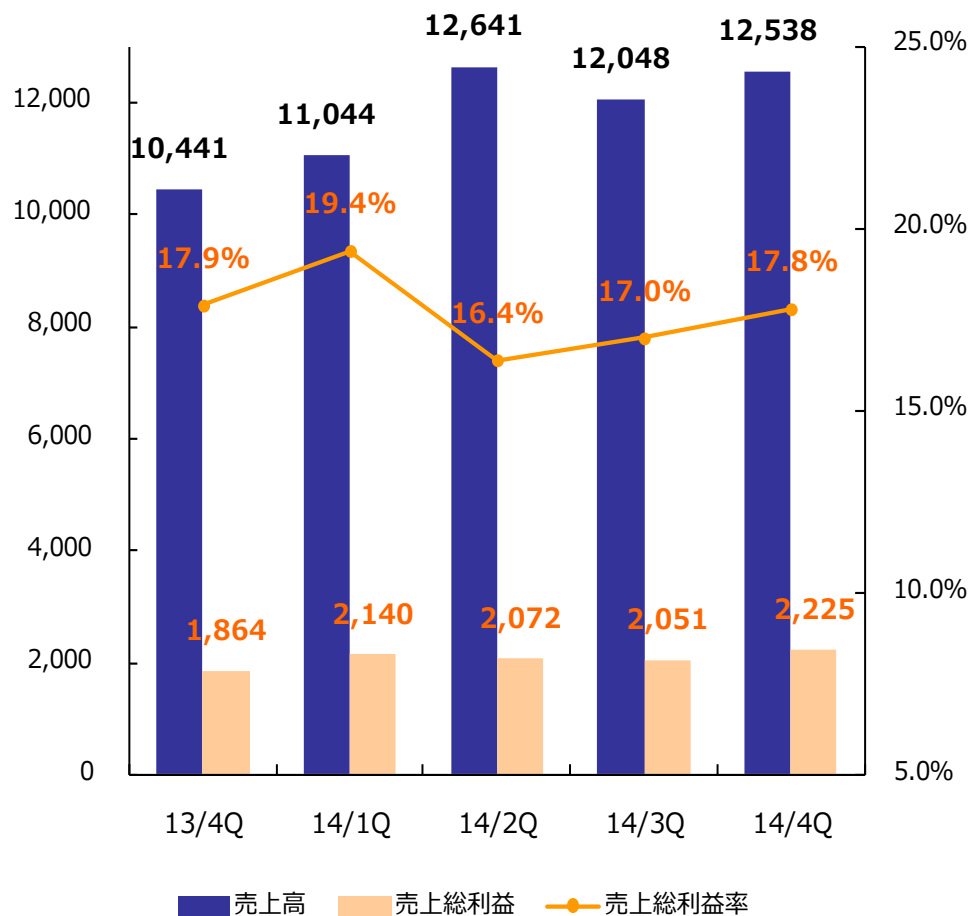
2. ネットマーケティング事業

インターネットを活用した包括的な**マーケティング支援サービス**を企業向けに展開。
 インターネット広告の販売や各種ウェブソリューションの提供をはじめ、
自社サービスとしてアドネットワーク等のマーケティングプラットフォームや
 クラウド型CRMサービスの運営も手がける。



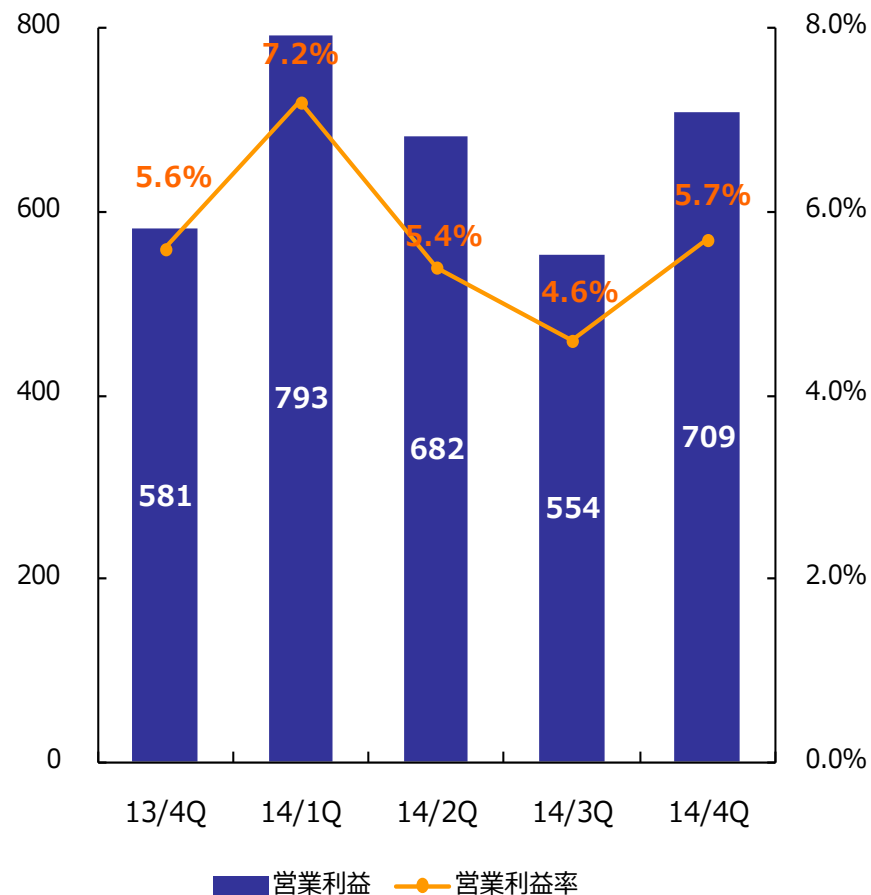
売上高・売上総利益

→ 総利益率が前四半期比で改善



営業利益

→ 前年同期比22.1%増



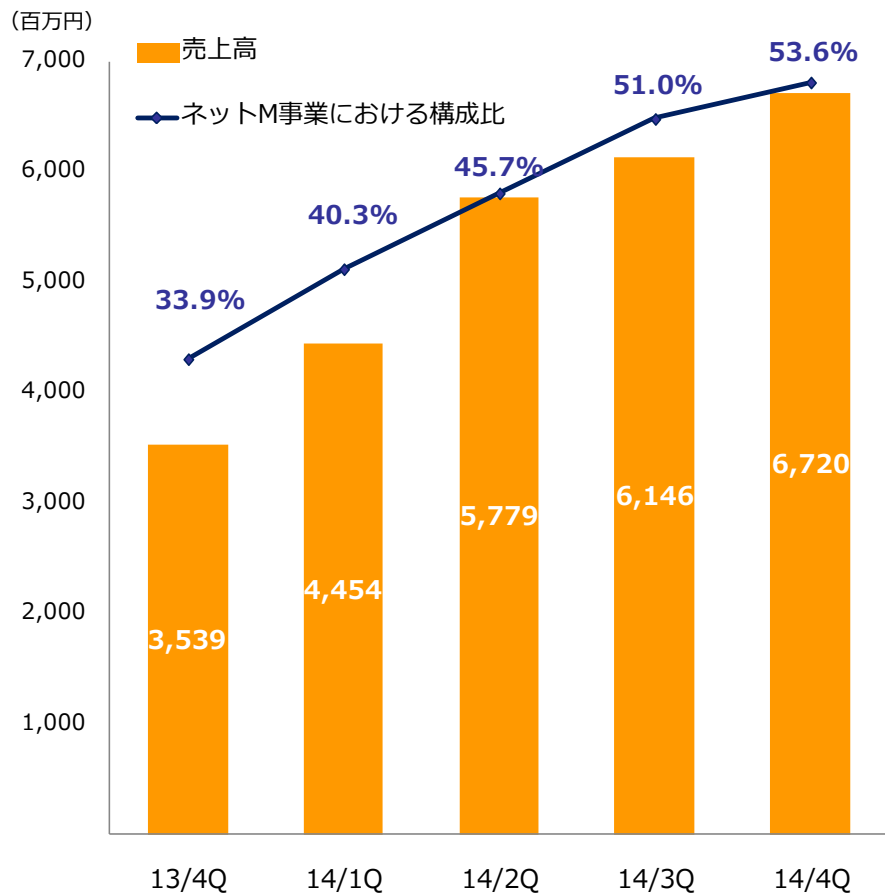
	2014年9月期 4Q			2013/9期 4Q (前年同期)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
売上高	12,538	100.0%	+20.1%	10,441	100.0%
売上総利益	2,225	17.8%	+19.3%	1,864	17.9%
販売管理費	1,515	12.1%	+18.1%	1,238	12.3%
営業利益	709	5.7%	+22.1%	581	5.6%

国内外のネットサービス事業者からの出稿が引き続き拡大、20%台の増収が続く
売上総利益は22億円を突破し**過去最高を更新**

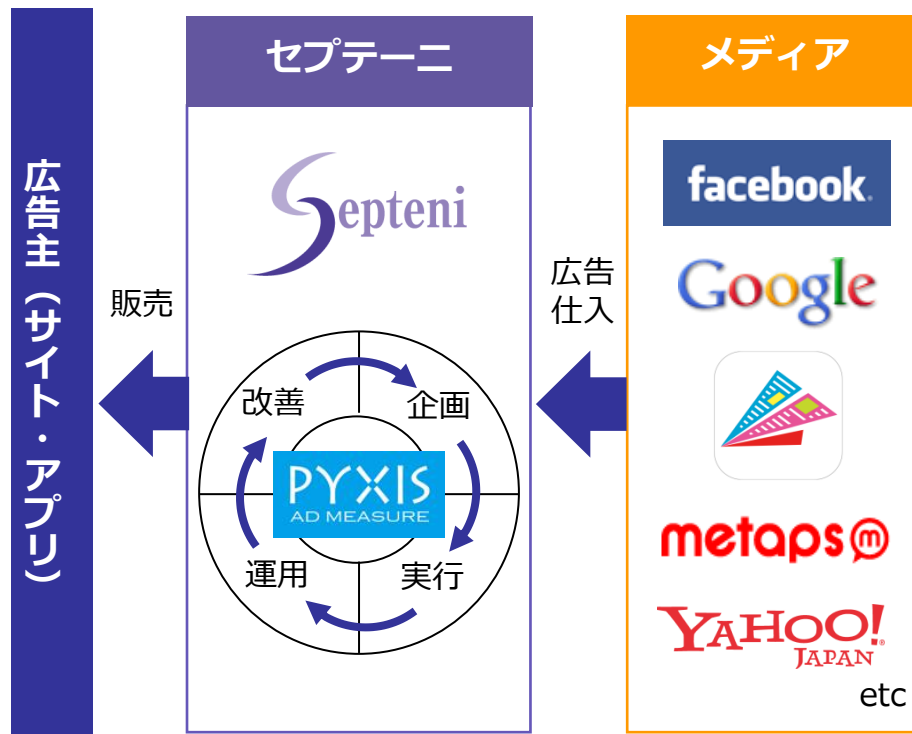
高採算案件の増加等により、総利益率は前年同期とほぼ同水準に改善
営業利益は前年同期比**22.1%増**となり、営業利益率も改善

海外売上の拡大がスマホ広告とソーシャル事業の成長に寄与

スマートフォン広告売上推移



ビジネスモデル

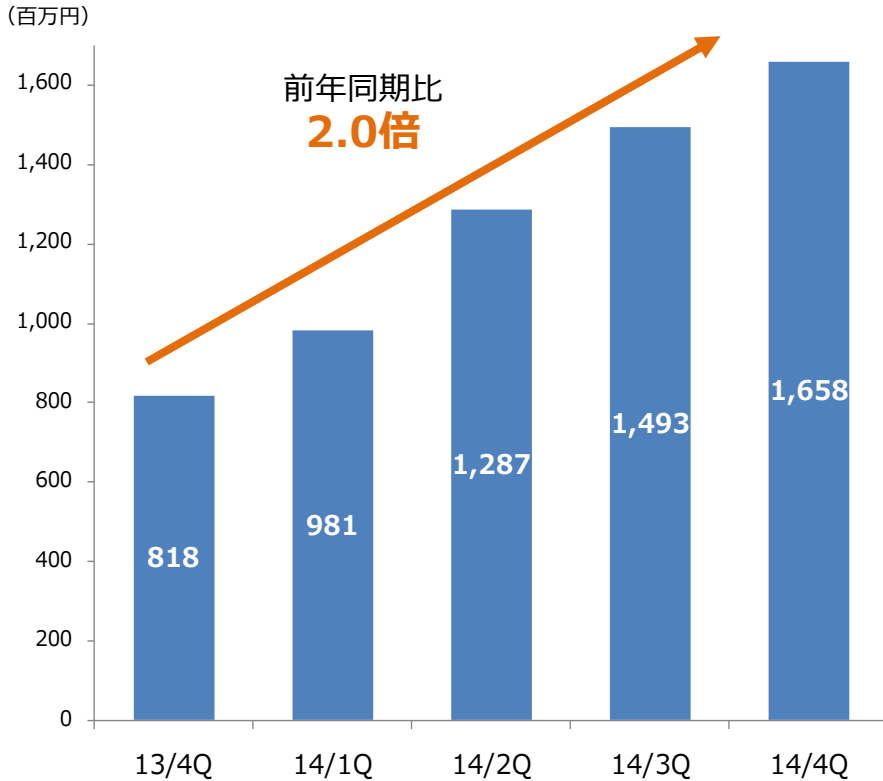


売上高は前年同期比約**1.9倍**に拡大、売上構成比も**53.6%**に上昇

「グノシー」等のニュースアプリやファッションアプリ「iQON」における
ネイティブ広告商品の開発・販売をサポート
有カスマホメディアとのパートナーシップを強化

ソーシャル事業売上推移

(Facebook、Twitter、LINEの合計)



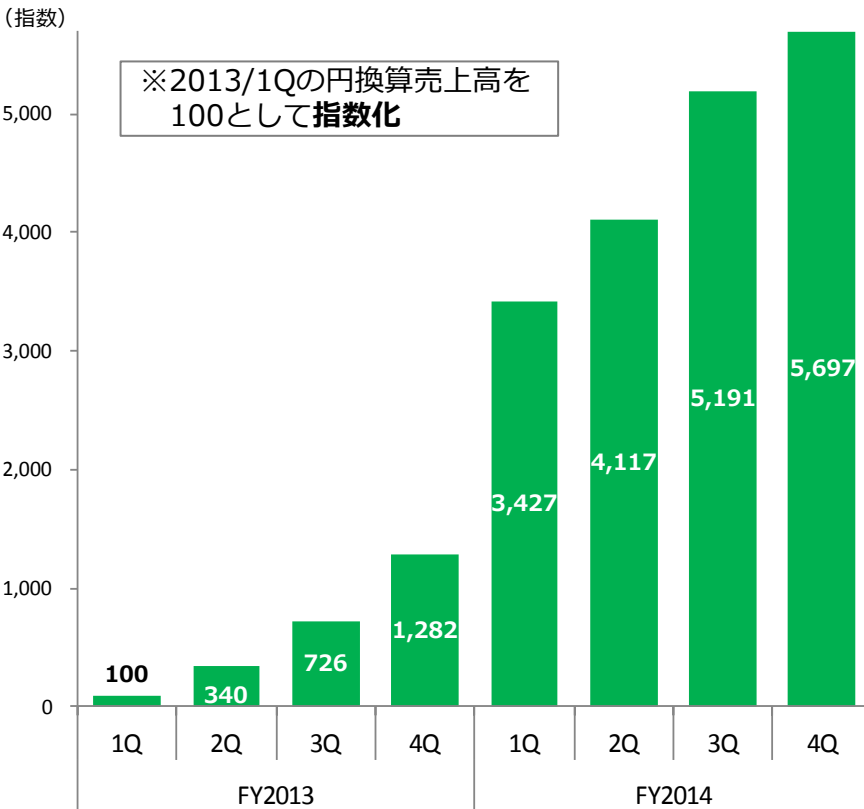
ビジネスモデル



Facebook関連サービスは、顧客単価の上昇と海外での取扱高拡大が続く

Twitterの広告APIパートナーに加えモバイルメジャメントパートナーにも認定
 広告取扱高も大幅に拡大

海外売上推移



ビジネスモデル

→ 海外に4か所の営業拠点を展開し、
ネット広告のクロスボーダー取引体制を構築

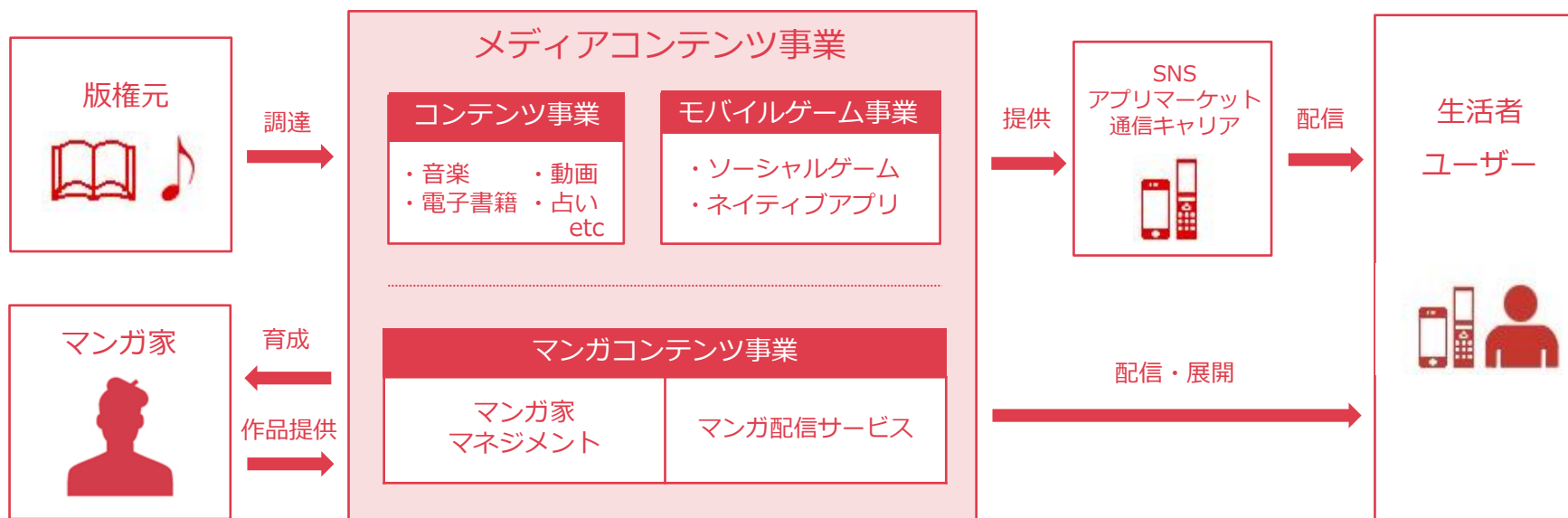


北米拠点を中心に着実な成長が続く

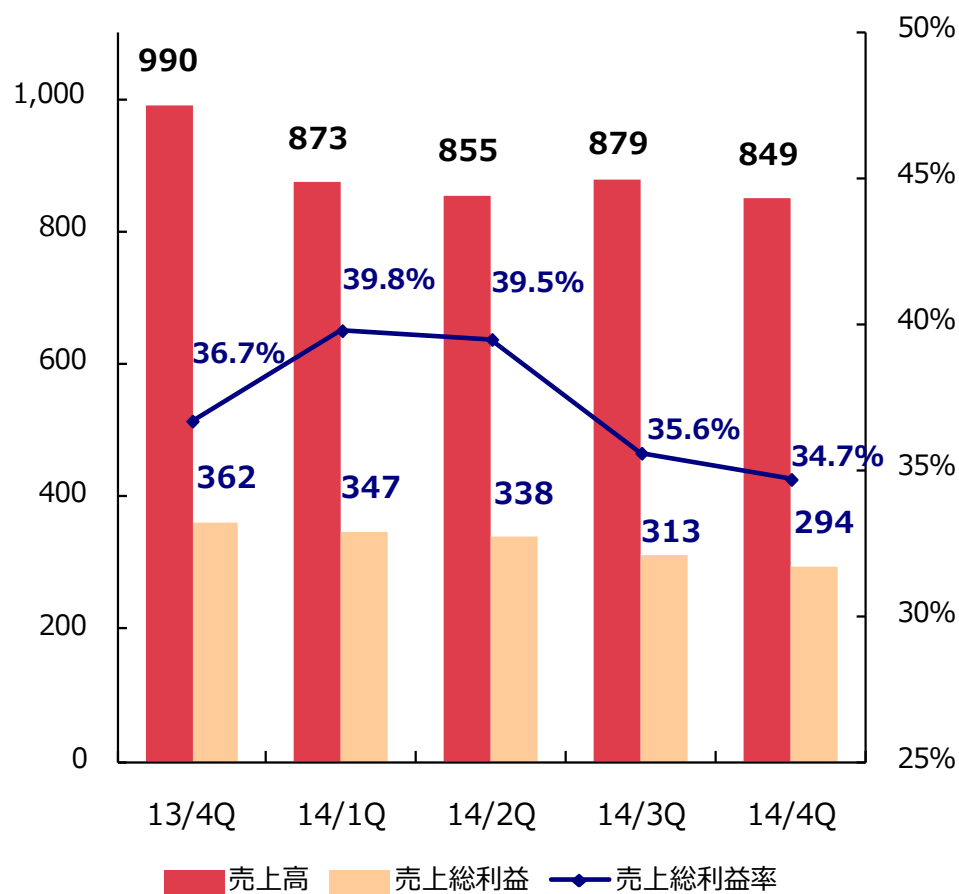
3. メディアコンテンツ事業

主にスマートフォン向けにソーシャルゲームをはじめとする**各種デジタルコンテンツを企画・開発**し、SNSやアプリマーケット等様々なプラットフォームを通じて生活者に提供。

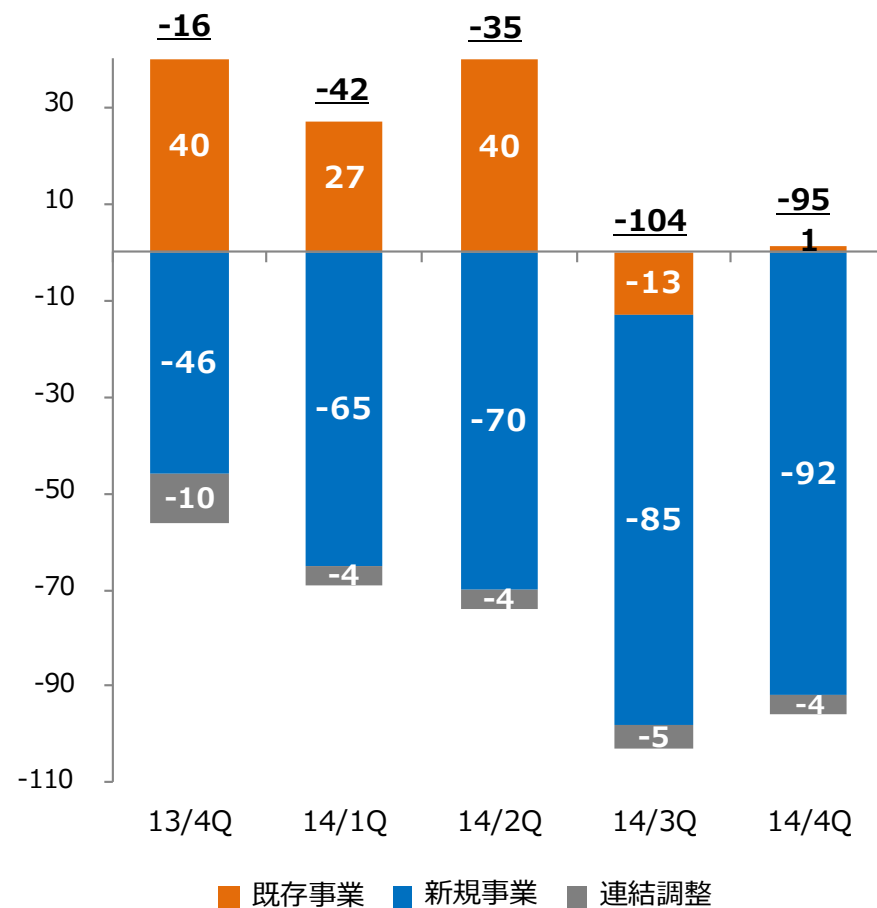
また、**自社IP（知的財産）の企画・開発**を目的に、マンガ家の育成・輩出、マンガ配信サービスの運営を手がける。



売上高・売上総利益



営業利益（内訳）

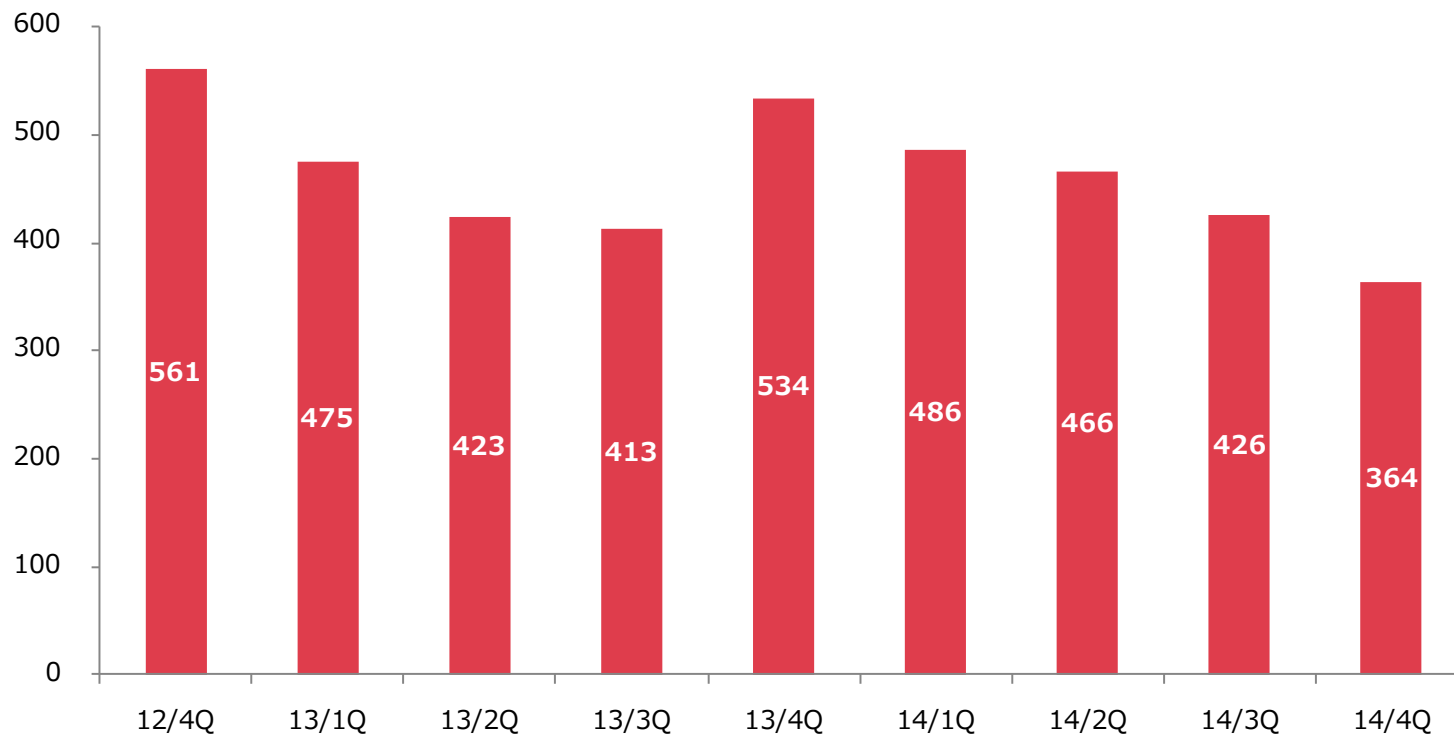


	2014年9月期 4Q			2013/9期4Q (前年同期)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
売上高	849	100.0%	-14.2%	990	100.0%
売上総利益	294	34.7%	-18.9%	362	36.7%
販売管理費	389	45.9%	+2.7%	379	38.4%
営業利益	-95	-11.2%	(-78)	-16	-1.7%

モバイルゲーム事業において新タイトルの投入がなく減収となったものの、既存タイトルが堅調に推移し、アクセルマークは営業利益を確保

マンガコンテンツ事業では、作家育成や配信サービス充実のため先行投資を拡大
新規事業に係る営業損失は92百万円に増加

アクセルマークのモバイルゲーム売上推移



©アクセルマーク/©E★エブリスタ



© SEGA Networks / © AXEL MARK

2タイトルをクローズし、新規開発にリソースをシフト

フルネイティブアプリ「大乱闘!!ドラゴンパレード」(セガネットワークスとの協業)の事前登録を10/21より開始、11/4までに登録者数が7万人を突破

2015年9月期2Q以降リリース予定のネイティブタイトルを4本開発中



© SEGA Networks / AXEL MARK

新人マンガ家支援プログラム「Route M」

- 所属作家による人気作品を単行本化
10/17より電子書籍ストアで順次販売開始



© COMICSMART INC.



© COMICSMART INC.



© COMICSMART INC.



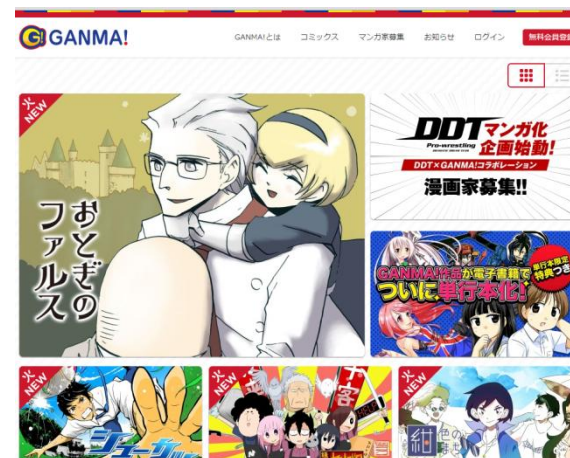
© COMICSMART INC.



© COMICSMART INC.

連載型新作マンガ配信サービス「GANMA!」

- アプリのダウンロード数が**75万**を突破
- 10/31時点の連載数は**38作品**に
- ブラウザ版の提供を開始



4. 2014年9月期 通期レビュー

売上高 **54,345百万円** (前年同期比**18.2%増**)
営業利益 **2,259百万円** (前年同期比**41.8%増**)

- とともに3期連続で**過去最高**を更新

ネットマーケティング事業は業容拡大と収益性向上を実現

- 前期比**22.3%増収**、**35.9%増益**、営業利益率は**5.7%**に向上
- モバイル・ソーシャル・グローバルの各注力分野が高成長

メディアコンテンツ事業は先行投資期で営業赤字が拡大

- モバイルゲーム事業は、ネイティブアプリの開発に注力
- マンガコンテンツ事業を中心に新規事業への投資を拡大

	2014年9月期 通期			2013/9期 通期 (前期)		2014/9期 通期 業績予想
	金額	比率	前期比	金額	比率	
売上高	54,345	100.0%	+18.2%	45,982	100.0%	54,160
売上総利益	10,141	18.7%	+14.3%	8,874	19.3%	—
販売管理費	7,882	14.5%	+8.2%	7,281	15.8%	—
営業利益	2,259	4.2%	+41.8%	1,593	3.5%	2,253
経常利益	2,362	4.4%	+34.8%	1,752	3.8%	2,329
当期純利益	1,549	2.9%	+28.3%	1,207	2.6%	1,517

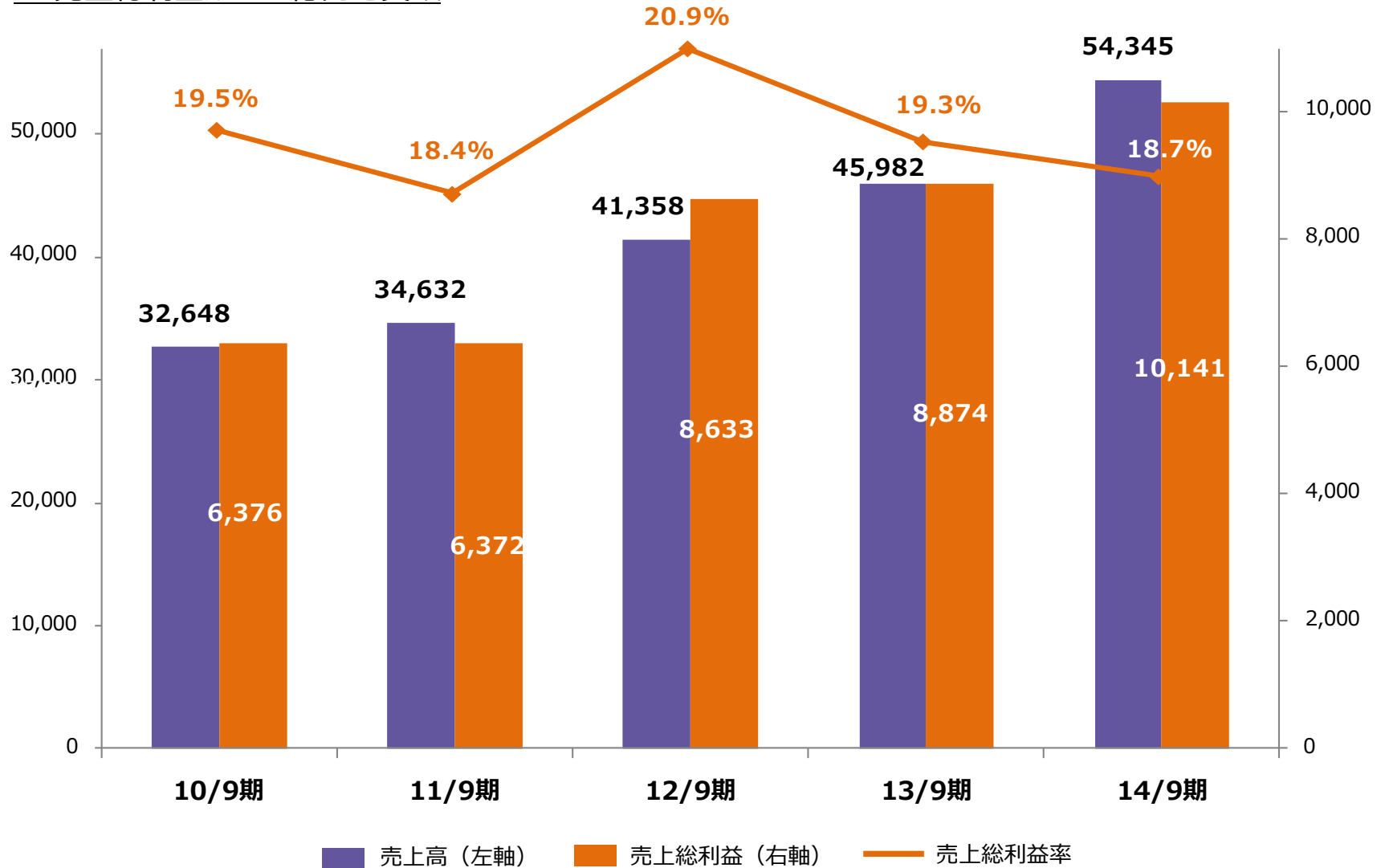
全指標において**3期連続で過去最高**を更新

ネットマーケティング事業の収益性向上が寄与し、営業利益率は**4.2%**と0.7ポイント改善

当期純利益の伸長に伴い、2期連続となる**増配**を実施（1株当たり9円に）

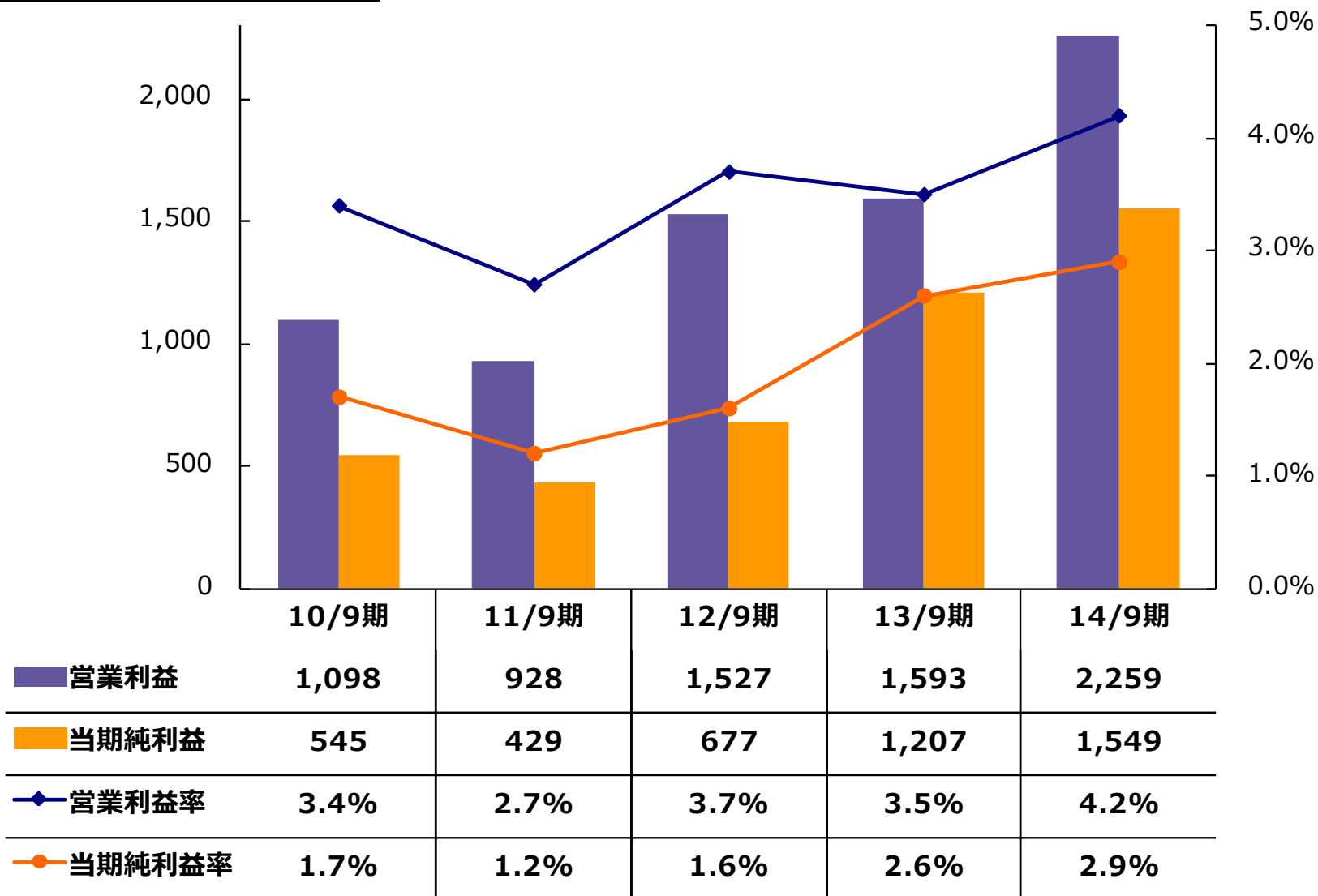
売上高・売上総利益

→ 売上総利益が100億円を突破



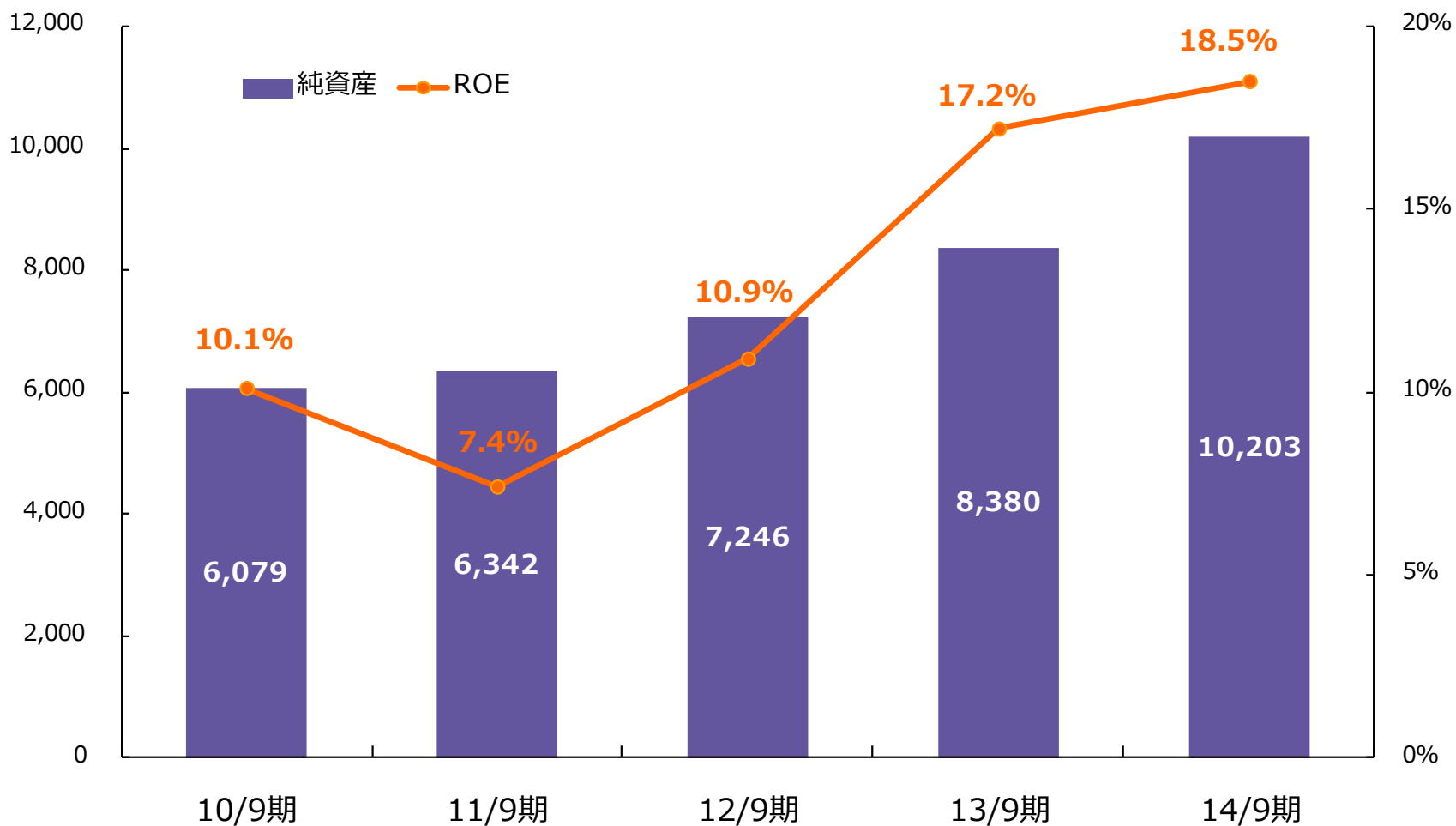
営業利益・当期純利益

→ 営業利益率が4%台に向上



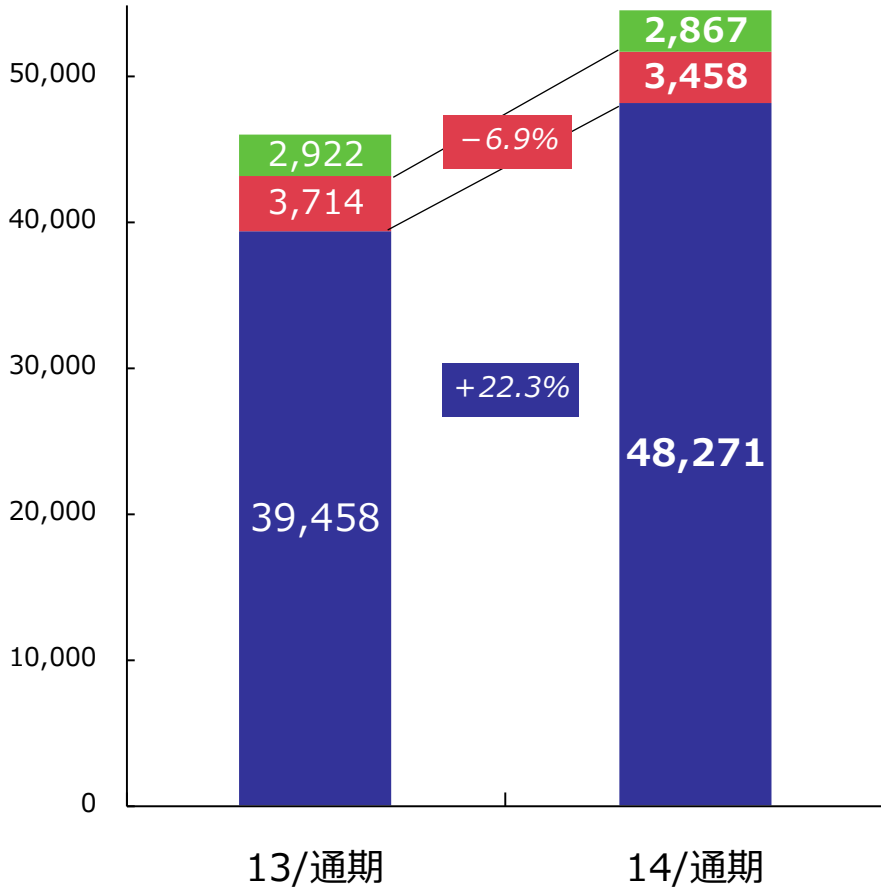
ROE・純資産

→ ROEが3期連続で向上するとともに、純資産が100億円を突破

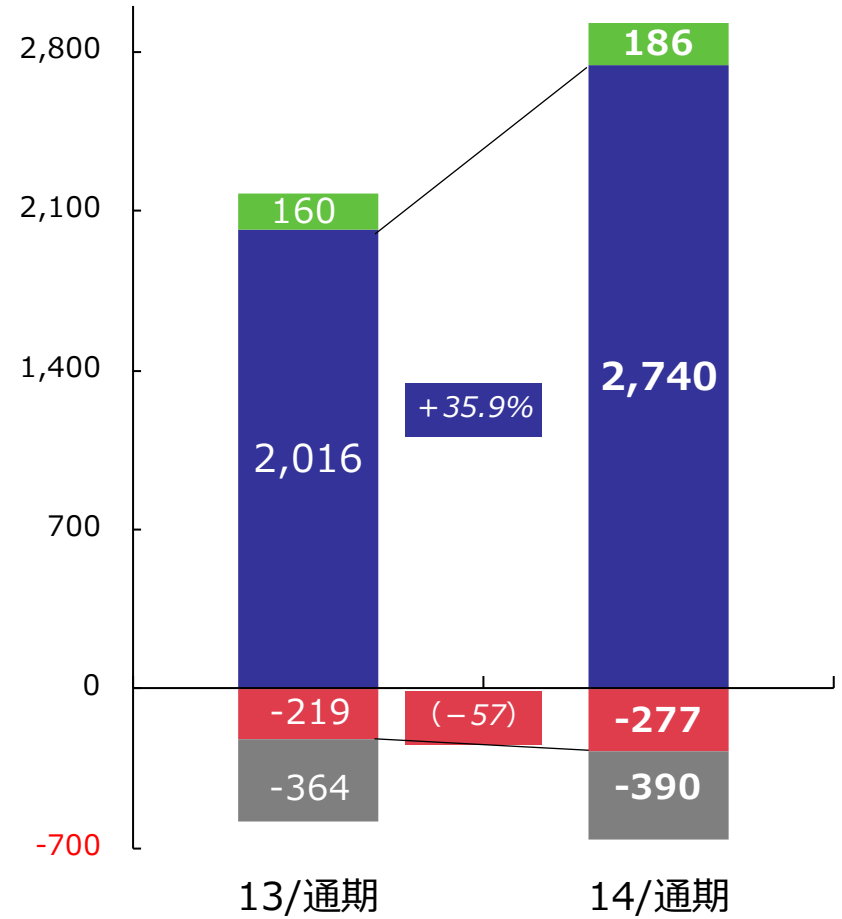


(注) ROE= $\frac{\text{当期純利益}}{(\text{前期末自己資本} + \text{当期末自己資本}) \div 2}$

売上高



営業利益



■ ネットマーケティング ■ メディアコンテンツ ■ その他 ■ 調整額（全社費用等）

売上高		営業利益			
金額	前期比	金額	前期比	利益率	前期比
48,271	+22.3%	2,740	+35.9%	5.7%	+0.6pt

業績

- 運用型広告を中心とするネット広告市場の拡大と成長分野への注力により、前期に比べ売上成長が加速
- 営業利益も大幅に伸長し、業容拡大と収益性の向上を両立

モバイル

- スマホ広告は需要拡大とともに商品の多様化も進み高成長が続く
- 売上高は前期比約**2.1倍**となり、事業内構成比は約**48%**に上昇

ソーシャル

- Facebook関連サービスを中心にソーシャル事業が拡大
- Twitter広告の急成長もあり、売上高は前期比約**2.9倍**に伸長

グローバル

- 海外拠点を2か所（ロンドン、ソウル）新設したほか、韓国のネット広告企業を子会社化するなど海外展開を積極的に推進
- 北米拠点を中心に業容が拡大し、海外売上高は前期比約**7.5倍**と大幅に増加

売上高		営業利益			
金額	前期比	金額	前期比	利益率	前期比
3,458	-6.9%	-277	(-57)	-8.0%	-2.1pt

モバイルゲーム事業

- 初のネイティブアプリ「反逆のシエルアーク」をはじめ、既存タイトルは堅調に推移したものの、新規タイトルの投入がブラウザゲーム1本にとどまり減収に
- 2015年9月期にリリース予定のネイティブアプリゲームの開発に注力
有力パブリッシャーとの協業案件を積極的に手がける

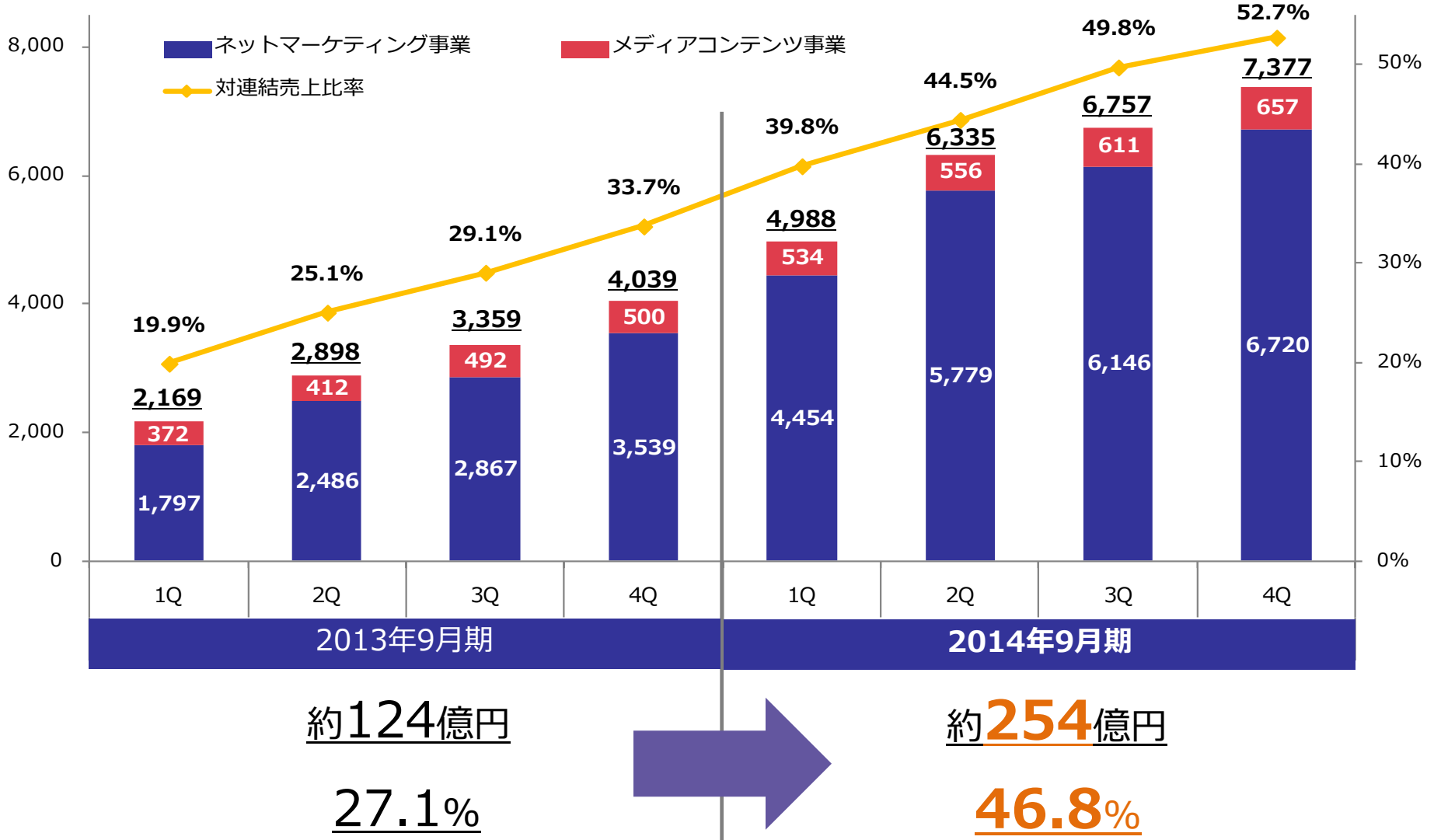
マンガコンテンツ事業

- 連載型新作マンガ配信サービス「GANMA!」を2013年12月に開始し本格始動
- 将来の収益化に向けて、作家育成と配信サービス両面で積極的な先行投資を実施

新規事業全般

- マンガコンテンツ事業の他には、マッチング型人材採用プラットフォーム事業、社会貢献プラットフォーム運営事業を中心に事業開発
- 新規事業（マンガコンテンツ事業を含む）への先行投資に係る損失は、前期比約2倍の313百万円に拡大

通期でのスマホ売上は前期比約 **2** 倍、対連結売上比率は約 **47%** に拡大



5. 2015年9月期の方針と 1Q業績予想

グループ連結

**将来の高収益事業創出のための積極投資を継続しつつ、
ネットマーケティング事業の持続的成長により、増収増益を目指す**

ネットマーケティング事業

- 成長分野であるモバイル・ソーシャル・グローバルの3分野に注力し、市場シェアの拡大と収益性の向上を図る

メディアコンテンツ事業

- モバイルゲーム事業では、ネイティブアプリのヒットタイトル創出による収益改善を目指す
- マンガコンテンツ事業では、プラットフォームの規模拡大に向けて積極的な先行投資を継続

	2014年9月期 1 Q実績	2015年9月期 1 Q予想	予想成長率
売上高	12,532	14,000	+ 11.7%
営業利益	682	300	- 56.1%
経常利益	737	300	- 59.3%
当期純利益	413	1,000	+ 142.0%

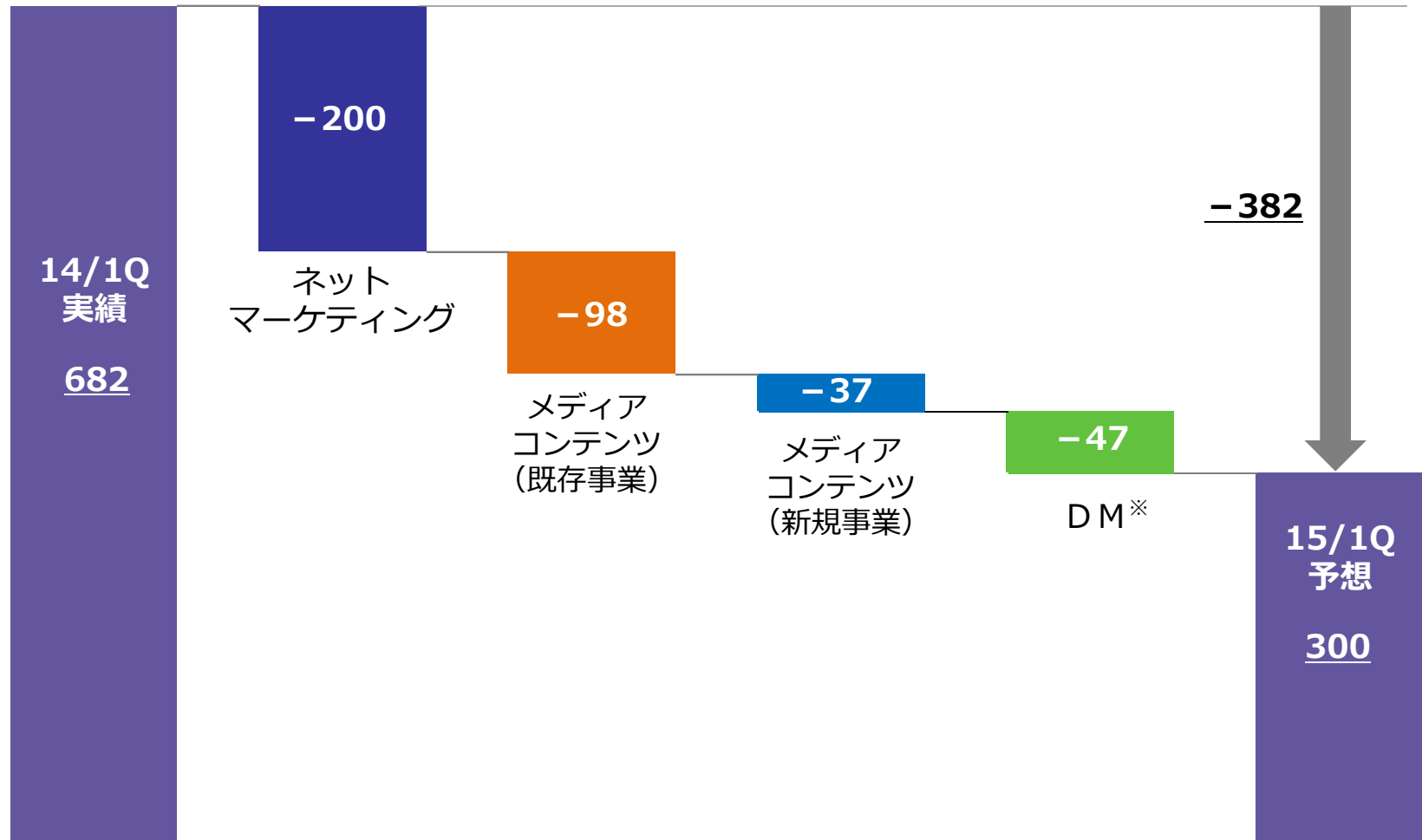
ネットマーケティング事業は、足元も堅調に推移しており増収を見込むが、前年同期に一時的な総利益増加要因が発生した反動で減益となる見通し

メディアコンテンツ事業は、新規ネイティブゲームタイトルの投入により増収を見込むが、先行投資の積極化により、営業赤字が拡大する見通し

DM事業子会社（事業区分「その他」）の全株式を2014/10/1付で譲渡、1Qから連結対象外に

- 同事業の前年同期実績は、売上高671百万円／営業利益36百万円（セグメント間取引及びセグメント配賦の持株会社費用含む）
- 1Qにおいて特別利益として子会社株式売却益1,098百万円を計上予定

連結営業利益の事業区分別対前年同期比変動額（概算）



※DM事業による変動額は、14/1Qにおけるセグメント間取引及び当該セグメントに配賦された持株会社の費用を控除して算出しております。

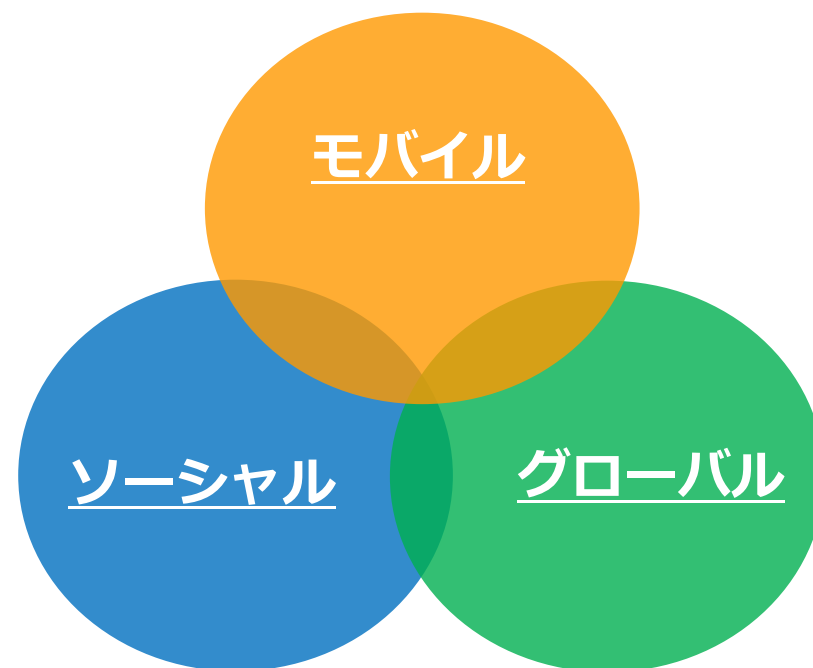
コンセプト

注力分野

「利益倍増」

高収益事業の構成比アップ

広告に次ぐ事業の柱をつくる



本日はありがとうございました。

お問い合わせ先

株式会社セプテーニ・ホールディングス

<http://www.septeni-holdings.co.jp>

経営企画部 広報・I R課

TEL : 03-6857-7258 E-mail : koho@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2014年11月4日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

6. 補足資料

2014年9月30日現在

会社名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代表者	代表取締役社長 佐藤 光紀 / 代表取締役会長 七村 守
所在地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー28F
証券コード	4293 (JASDAQ)
事業内容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設立日	1990年10月29日
資本金	2,053百万円
発行済株式数	27,147,000株 (うち自己株式1,784,600株)
連結従業員数	809名 (正社員) 、 955名 (就業員)

純粋持株会社

(株)セプテーニ・ホールディングス

2014年11月4日現在

ネットマーケティング事業

(株)セプテーニ	インターネット広告	Septeni America, Inc.	北米地域におけるインターネットマーケティング事業
MANGO(株)	SEMオペレーション	Septeni Europe Co.,Ltd	欧州地域におけるインターネットマーケティング事業
(株)Vasara	インターネット広告	SEPTENI TECHNOLOGY CO., LTD.	ウェブサービスの開発等
(株)ハイスコア	ソーシャルメディアマーケティング支援事業	JNJ INTERACTIVE INC.	韓国におけるインターネットマーケティング事業
(株)イーグルアイ	アドネットワーク事業	(株)セプテーニ・クロスゲート	アフィリエイトネットワーク
(株)セプテーニ・オリジナル	自社サービスの企画・開発	(株)エイエスピー	eマーケティングソリューション事業
Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.	アジア太平洋地域におけるインターネット広告事業	トライコーン(株)	CRMサービス事業

メディアコンテンツ事業

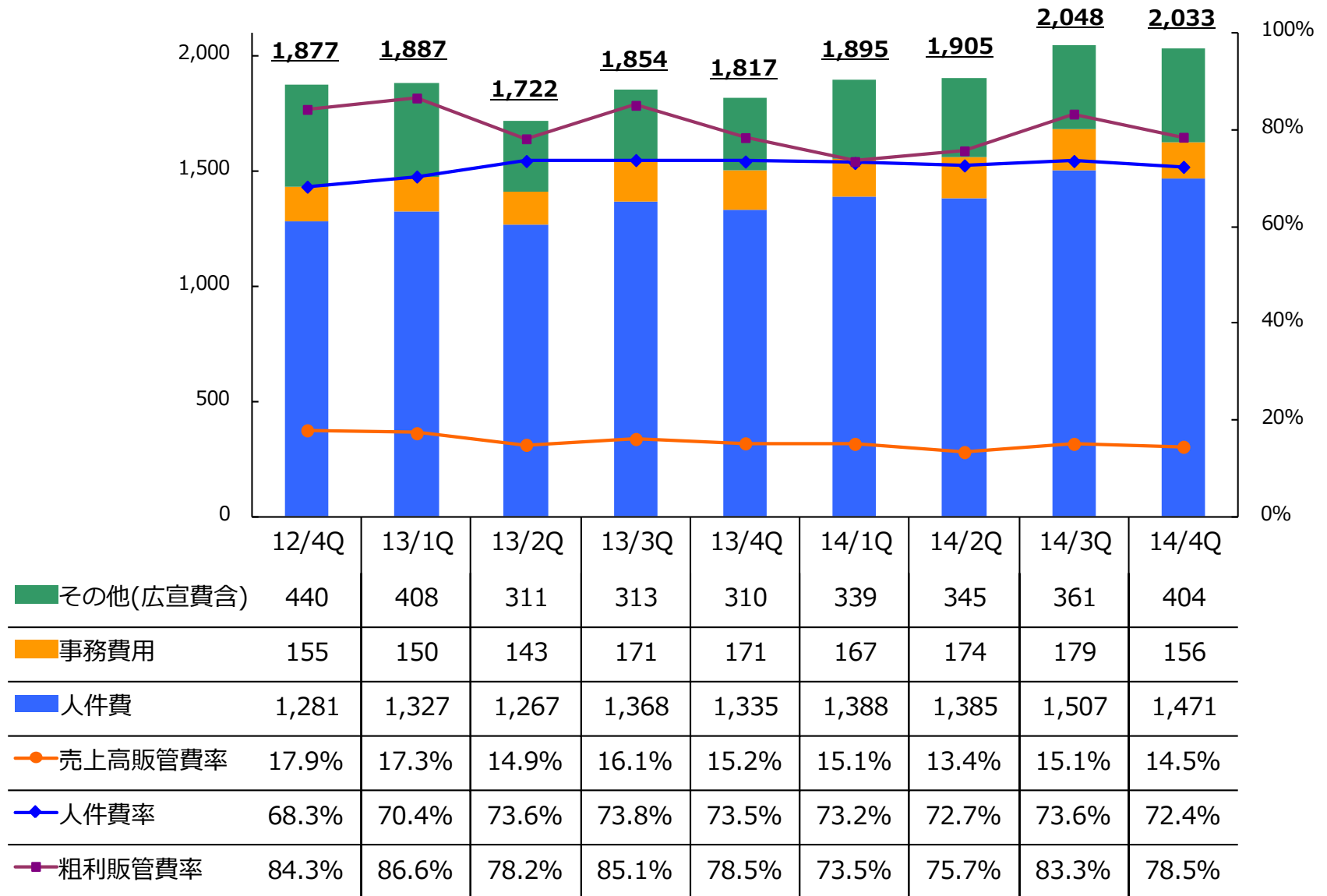
アクセルマーク(株)	モバイルコンテンツ事業	ビビビット(株)	マッチング型人材採用プラットフォーム事業
コミックスマート(株)	マンガコンテンツ事業	gooddo(株)	社会貢献プラットフォーム運営事業

新規事業開発

(株)セプテーニ・ベンチャーズ

	2014年9月期 期末	2013年9月期 期末	増減	主な変動
流動資産合計	18,115	13,502	+4,612	現金及び預金 + 2,623 受取手形及び売掛金 + 1,828
固定資産合計	3,510	2,520	+989	繰延税金資産 + 527 のれん + 216 投資有価証券 + 134
資産合計	21,625	16,023	+5,602	
流動負債合計	11,069	7,590	+3,479	買掛金 + 2,499 未払法人税等 + 516
固定負債合計	352	52	+300	長期借入金 + 297
負債合計	11,422	7,643	+3,779	
純資産合計	10,203	8,380	+1,822	利益剰余金 + 1,372 少数株主持分 + 239
負債・純資産合計	21,625	16,023	+5,602	

	2014年9月期 通期	主な内訳	2013年9月期 通期
営業活動による キャッシュ・フロー	2,830	税金等調整前当期純利益 + 2,316 仕入債務の増加 + 1,659 法人税等の支払い Δ 980	1,094
投資活動による キャッシュ・フロー	Δ 913	定期預金の預入/戻入 Δ 506 子会社株式の取得 Δ 258	417
財務活動による キャッシュ・フロー	178	借入金の増減 + 359 配当金の支払い Δ 176	Δ 85
現金及び現金同等物に 係る換算差額	21		14
現金及び現金同等物の 増減額	2,117		1,440
連結範囲の変更等に伴う 増減額	—		Δ 1
現金及び現金同等物の 期末残高	8,687		6,570



(単位：人)

